

2020(令和2)年3月の

ウィークエンド・シネマ

～大空襲75年特別企画～

2020(令和2)年3月は、東京、大阪、神戸、名古屋の大空襲から75年の年にあたります。3月のウィークエンド・シネマでは、「大空襲」が関連する映画を週替わりで特別上映します。

各日
午後2時～
参加費無料
(ただし入館料必要)

3月7日 ～東京～

映画『まあだだよ』【134分 カラー 1993(平成5)年 日本】

巨匠・黒澤明の監督生活50周年記念作品。30作目にして、残念ながら遺作となった。随筆家・内田百閒と教え子たちの20年以上にわたる交流を温かく描く。

3月14日 ～名古屋～

映画『明日への遺言』【110分 カラー 2008(平成20)年 日本】

大岡昇平の「ながい旅」を原作に、小泉堯史監督が構想15年をかけて映画化。第二次世界大戦終了後、B級戦犯裁判をたった一人で戦い抜いた岡田資中将の生涯を描く。

3月28日 ～神戸～

映画『火垂るの墓』【88分 カラー 1988(昭和63)年 日本】

自らの体験をもとに書いた野坂昭如の同名小説を、高畑勲監督がアニメ映画化。終戦間近の神戸で親を失くした幼い兄弟が必死で生き抜こうとする姿を描く。

【ところ】ピースおおさか1階講堂

【対象】どなたでも(小学生以下は保護者の方と同伴)

【定員】250名

【申込方法】申込不要(当日先着順)

【入館料】大人250円、高校生150円、中学生以下は無料

65歳以上・障がい者の方も無料(要証明書)、20名以上は団体割引



～上映作品のあらすじ～

3/7 『まあだだよ』

昭和 18 年の春。先生は作家活動に専念するために長年務めた大学を辞めた。しかし、先生の人柄を慕う教え子たちはその後も足繁く先生のもとを訪ねてくる。

ある日、先生の還暦の祝宴が開かれていた最中に空襲が…。

【監督】黒澤明 【原作】内田百閒

【出演】松村達雄、香川京子、井川比佐志、所ジョージ、油井昌由樹、寺尾聰、小林亜星ほか



(C) KADOKAWA 1993

3/14 『明日への遺言』

太平洋戦争末期、名古屋を空爆した米軍捕虜を処刑した責任を問われ、B 級戦犯として戦争裁判にかけられた岡田資中将。彼は「一般民衆への無差別爆撃の責任は誰が負うのか、命令により実行した部下の責任は誰が負うべきなのか」を主張し、たった一人で法廷を戦い抜く。

【監督】小泉堯史 【原作】大岡昇平

【出演】藤田まこと、富司純子、西村雅彦、蒼井優、田中好子、ロバート・レッサーほか

【ナレーション】竹野内豊



(C)2007「明日への遺言」製作委員会

3/28 『火垂るの墓』

昭和 20 年、夏。ぼくと妹は、ふたりぼっちになった。空襲の混乱の中、清太と節子の兄妹は母親を亡くし、家を焼け出され、西宮の親戚の家に身を寄せることになった。しかし、叔母との同居に耐えられず、近くの防空壕でふたりだけの生活をはじめめるが…。

【監督】高畑勲 【原作】野坂昭如

【制作】スタジオジブリ



「春休み親子まつり」では、野坂昭如戦争童話集からアニメ映画 2 作品を特別上映！

3月24日～27日 29日 『焼跡の、お菓子の木』(45分)

4月1日～3日 5日 『ぼくの防空壕』(45分)

※詳細については、当館のホームページをご覧ください。

【主催】公益財団法人 大阪国際平和センター (ピースおおさか)

〒540-0002 大阪府中央区大阪城 2-1

TEL 06-6947-7208 FAX 06-6943-6080

<http://www.peace-osaka.or.jp>

JR 環状線「森ノ宮」北出口・Osaka Metro「森ノ宮」①番出口

